

承認組合（※）による農林漁業法人等への出資事例

【承認組合の概要】

組 合 名 称	いわぎん農業法人投資事業有限責任組合	
運 営 主 体	いわぎん事業創造キャピタル 株式会社	
組 合 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社 岩手銀行</li> <li>・株式会社 日本政策金融公庫</li> <li>・いわぎん事業創造キャピタル 株式会社</li> </ul>	
組 合 規 模	5億円	
投 資 対 象 の 範 囲	岩手銀行営業エリア内の認定農業者または認定農業者として認定を受けることが確実な農業法人で、株式会社形態（特例有限会社を含む）の組織	
上 記 組 合 に 関 する 問 い 合 わ せ 先	担 当 部 署	いわぎん事業創造キャピタル 株式会社
	連 絡 先	TEL：019-621-1470

※「承認組合」とは、農林漁業法人等投資育成事業に関する計画について農林水産大臣の承認を受け、農林漁業法人等の株式等の取得及び投資先農林漁業法人等に対して経営又は技術の指導を行う投資事業有限責任組合のことです。

【出資概要】

事 例 1	出 資 先 名	株式会社 前森山集団農場
	所 在 地	岩手県八幡平市
	事 業 内 容	酪農業
	出 資 額	40百万円
	出 資 の 経 緯 ( 目 的 )	<p>同社は、乳牛の飼育及び生乳生産等の酪農業を営んでおり、平成27年（2015年）3月より畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）を活用して新牛舎や牛群管理システムを導入した搾乳施設を新設する等、事業の発展に意欲的である。</p> <p>同事業の推進に必要な牛の導入や飼料の購入等の資金をサポートするため今回の出資を決定した。</p>
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
	契 約 時 期	平成29年（2017年）3月

事例 2	出 資 先 名	高源精麦 株式会社
	所 在 地	岩手県花巻市
	事 業 内 容	養豚業
	出 資 額	50百万円
	出 資 の 経 緯 ( 目 的 )	同社は養豚業を営んでおり、ブランド豚『白金豚 (はっきんとん)』の養豚及び精肉販売等を行っている。畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 (畜産クラスター事業) を活用して豚舎の新設及び改修による出荷能力向上に取り組んでおり、今後の事業の更なる成長が期待できることから、今回出資を決定した。
	出資金の使途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
契 約 時 期	平成29年 (2017年) 4月	

事例 3	出 資 先 名	有限会社 ありす畜産
	所 在 地	岩手県気仙郡住田町
	事 業 内 容	養豚業
	出 資 額	50百万円
	出 資 の 経 緯 ( 目 的 )	当社が生産する『四元種配合豚 (お米育ち豚)』は味の良さや減投薬養豚であるという特徴から最終消費者から高評価を得ている。 販売先である首都圏の事業者からも出荷頭数の増加を要請される等、安定的な受注販路を構築しており、今後の成長が期待できることから、今回出資を決定した。
	出資金の使途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
契 約 時 期	平成30年 (2018年) 9月	

事例4	出 資 先 名	株式会社 八幡平スマートファーム
	所 在 地	岩手県八幡平市
	事 業 内 容	施設園芸（バジル水耕栽培）
	出 資 額	50百万円
	出 資 の 経 緯 （ 目 的 ）	<p>当社は、令和元年（2019年）1月に調印された八幡平市との「企業立地協定書」に基づき、事業拡大を目指すバジル生産農家として設立された会社である。</p> <p>栽培方法として縦型水耕栽培を採用することで露地栽培に比べ、高い生産性を実現するとともに、IoTの活用により施設内の温度や湿度、養液等を自動制御するスマート農業に取り組んでいる。</p> <p>また、松川地熱発電所から発生する温水を活用した熱水ハウスを建築することで未活用ハウスの再生と自然エネルギーの活用、ならびに収益性を確保した持続的な農業を実現するための資金の一部として今回の出資を決定した。</p>
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
契 約 時 期	令和元年（2019年）10月	

事例5	出 資 先 名	株式会社 馬場園芸
	所 在 地	岩手県二戸市
	事 業 内 容	施設園芸（野菜、花卉栽培）
	出 資 額	10百万円
	出 資 の 経 緯 （ 目 的 ）	<p>当社が生産する「冬採りホワイトアスパラガス『白い果実』」は、遮光設備により土をかぶせず生産することで、苦味が少なく柔らかな食感を実現している。</p> <p>県内外の飲食店から高評価を得ているほか、首都圏のレストランのシェフからも引合いを受けており、今後の事業成長が期待できることから、今回出資を決定した。</p>
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
契 約 時 期	令和元年（2019年）12月	

事例 6	出 資 先 名	株式会社 重次郎
	所 在 地	岩手県岩手郡雫石町
	事 業 内 容	畜産業（和牛繁殖）
	出 資 額	40百万円
	出 資 の 経 緯 （ 目 的 ）	<p>当社では、早期母子分離哺育と適性授精の実施等により、岩手県における黒毛和牛の平均分娩間隔目標である380日以下を達成しており、効率的な和牛繁殖経営を実現している。また、牧草のほとんどを自社で生産する一方で、新たに飼料用大豆の栽培にチャレンジする等、輸入飼料に依存しない畜産業を目指している。</p> <p>ジャージー牛と黒毛和牛の交配種である「ジャー黒牛」を生産する等ユニークな肥育経営を取り入れ、中屋敷社長がホテルマンとして培ったビジネス感覚や視点で新たな形の畜産経営を実践しており、今後の事業成長が期待できることから、出資を決定した。</p>
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
契 約 時 期	令和2年（2020年）1月	

事例 7	出 資 先 名	クレアクロップス 株式会社
	所 在 地	岩手県北上市
	事 業 内 容	露地野菜栽培業（野菜、花卉栽培）
	出 資 額	30百万円
	出 資 の 経 緯 （ 目 的 ）	<p>当社は、約6年間にわたる人参の栽培経験を踏まえ圃場改良等を重ねたことで岩手県内の平均単収を上回る単収を実現している。また、今後は人参の作付け面積を10ha程度まで増加させるとともに、主産地での農業技術を岩手県流にアレンジし、さらなる単収の増加を目指している。</p> <p>馬場社長は2013年の代表就任後、農産物を生産するだけの農業ではなく、地元産直への出店や、研修生の受入れ、農園での農業体験等幅広い活動を通じて地域に貢献しており、今後の事業成長が期待できることから、出資を決定した。</p>
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
契 約 時 期	令和2年（2020年）4月	

事例 8	出 資 先 名	株式会社 やなぎやのうえん
	所 在 地	岩手県紫波郡紫波町
	事 業 内 容	小麦栽培業
	出 資 額	10百万円
	出 資 の 経 緯 ( 目 的 )	<p>当社は、株式会社柳家の関連会社として小麦を専門に栽培している農業生産法人である。</p> <p>株式会社柳家グループでは、「お客様への感謝の気持ちは、一杯のラーメンに多くの手間をかけることでしか表現できない」との思いから、原材料を厳選するところからこだわり、ラーメンを作っている。</p> <p>特にも自家製麺の原料となる小麦はラーメンの味を決める重要な食材であり、ラーメンにあった自家製麺専用小麦を当社で生産している。</p> <p>今後は花巻市大迫地区を中心に小麦栽培面積を拡大することで、地域農業の担い手として地域の発展にさらに貢献する予定である。</p> <p>このような地域農業の発展に繋がる取組みは、「いわぎんグループSDGs宣言」の趣旨に合致するとともに、今後の事業成長が期待できることから、出資を決定した。</p>
	出 資 金 の 使 途	運転資金および設備資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
	契 約 時 期	令和3年(2021年)1月

事例 9	出 資 先 名	キートスファーム 株式会社
	所 在 地	岩手県盛岡市
	事 業 内 容	施設・露地野菜栽培
	出 資 額	20百万円
	出 資 の 経 緯 ( 目 的 )	<p>当社は、盛岡市内において岩手県認証特別栽培と有機JAS認証栽培に取り組む農業法人である。</p> <p>日本国内において有機栽培が注目されつつある中、当社では「真に安心安全な野菜」の栽培が必要であると考え、近年は有機野菜の栽培面積を徐々に拡大しており、今後は農業の経済的自立を確立するため、農地集積などに取り組むとともに、持続可能な農業生産方法を確立させ、地域農業の担い手として地域の発展に貢献していくこととしている。</p> <p>このような地域農業の発展に繋がる取組みは、「いわぎんグループSDGs宣言」の趣旨に合致するとともに、今後の当社の事業成長が期待できることから、出資を決定した。</p>
	出 資 金 の 使 途	運転資金および設備資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
契 約 時 期	令和3年(2021年)3月	